

倫理 第4回「ギリシャ思想① 神話・哲学・ソフィスト」

○今回のポイント

☆なぜ源流思想を学ぶのか

- ・ 倫理は、人間はなぜ生きるのかを学ぶ科目 → 古来の思想家たちは人間についてどう考えたかを参考にする
- ・ 古代ギリシャ…哲学を生み出す。自然と人間の調和的秩序のなかで、人間としての善なる生き方や幸福について探究。根底にあるのは理性の尊重。

2 編 1 章 ① 神話から哲学へ(教科書 p.22～)

ポリスと市民

○都市国家ポリス

- ・ ① _____]

古代ギリシャを学ぶ理由は「理性の尊重」とそれに伴う「古代民主制」にある。だが、民主制の起源として賛美されるギリシャでも民会に参加できるのは成人男性のみであり、女性と奴隷は民会に参加できなかった。では、なぜ成人男性だけが民会に参加できたのだろうか。その答えが重装歩兵民主制である。市民の生活と自由はポリスの安全と平和の上になりたっていたが、それをもたらしたのは戦士としてポリスを守る成人男性だった。つまり、重装歩兵としてポリスを守る代償として民会への参加権が得られていたのだ。このことを頭に入れておくと、なぜ世界では女性に選挙権が与えられたのが遅かったのかが理解することが出来る。

- ・ 市民の理想的生き方…それぞれが分を守り、他を侵さないという正義をわきまえ、善と② _____](カロカガティア)がとれていること。

哲学への道

人間としての生き方、世界の形成は当初、神話によって説明される。



☆神話によって世界を解釈した者たち☆

- ・ ③ _____]…『イリアス』、『オデュッセイア』。神の定めた運命に従いながらも、自己に課せられた使命を主体的な意志によって果たす人間を描く。
- ・ ④ _____]…『神統記』。神話的表現を用いながら、宇宙の生成について統一的な説明を試みる。
- ・ ⑤ _____]…ギリシャ悲劇の詩人。神話の作品を題材とし、ギリシャ人の基礎教養をつくりだす。



☆民会の発展と知的探究心の養成☆

- ・ 神話による世界解釈を脱却、人間の理性(⑥ _____)により真理を見出そうとする。
↓
- ・ ⑦ _____](観想)…個々の事物を見つめ、それを超えて存在する普遍的・客観的原理をとらえようとする。
↓
- ・ ⑧ _____](愛知)…自由に真理を求め愛するという精神。世界や人生に関する根本的な真理についての知恵を愛し求めるということ。

2 編 1 章 ② 自然哲学の誕生とソフィスト (教科書 p.24～)

自然哲学の成立

(1) [⑨]

- ・紀元前 6 世紀、ギリシア植民地イオニアのミレトスで最初の哲学である自然哲学が誕生。
- ・自然哲学の研究対象は、万物の根源([⑩])は何か、ということ。宇宙(神々、人間)の生成や自然現象を神話ではなく合理的・学問的に考察しようとした。

(2) アルケーの探求

哲学者	思想
⑪	最初の哲学者。「万物の根源は水」とし、神話的世界観を脱却。
アナクシマンドロス	性質的・量的に「無限なもの」。「限られないもの」(ト・アペイロン)
アナクシメネス	永遠に動き続ける「空気」。空気の希薄化と濃厚化により万物を説明。
ヘラクレイトス	「火」。「万物は火の交換物」とし、「⑫」と説く。
⑬	「数」。厳格な規律により音楽・数学・体操により魂のカタルシス(浄化)。
パルメニデス	事物の生成消滅・変化を否定。「あるものはただ一にして一切の存在である」。
エンペドクレス	「火・空気・水・土」の四元素が事物の生成消滅・変化を起こす。
⑭	「原子」(アトム)。原子が運動し、分離結合することで自然を説明する原子論

ソフィストの登場

ペルシャ戦争→無産市民の活躍→民主政治の成立→政治的知識・弁論術の重要視



紀元前 5 世紀頃、学問や思想の対象が自然([⑮])から人為([⑯])への転換



☆[⑰](知者)と称される職業教師の登場☆

プロタゴラス	[⑱]
[⑲]	非存在について
<ul style="list-style-type: none"> ・諸国を旅したので、それぞれの国にはそれぞれの法があり、それぞれの正しさがあることを知っていた。 ↓ ・真理の基準は個々の人間による(主観主義) ・絶対的、客観的な真実は存在しない(相対主義) 	<ul style="list-style-type: none"> ・絶対的な真理の否定 →真理は人により異なる相対的なものであり、絶対的な真理は存在しない。 ・知識否定論 →「人間の知るものは一切の偽りである」



☆ソフィストの[⑳]☆

- 個々の事物を超えて存在する普遍的な真理を否定することは、人々に共通する価値の否定に!
- 真理を追究するよりも弁論に勝つことに専念する風潮が高まる。
- ペロポネソス戦争でスパルタに敗北したアテネでは人々の心は荒廃、道徳意識の荒廃



☆[㉑]の登場☆

ソフィストによる相対主義を克服し、アテネの正義と秩序の回復を求め、人間としていかに生きるべきかを説く。